

外国語・英語科



外国語・英語科実践事例集

1 外国語・英語科(以下、英語科)における深い学び

コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、これまでにもっていた知識や経験に関連させながら、情報や自分の考えを形成、整理、再構築し、それを英語で表現し、伝え合ったり、理解したりする学び。

2 「深い学び」を目指すためのポイント

① 英語科における「深い学び」のとらえ

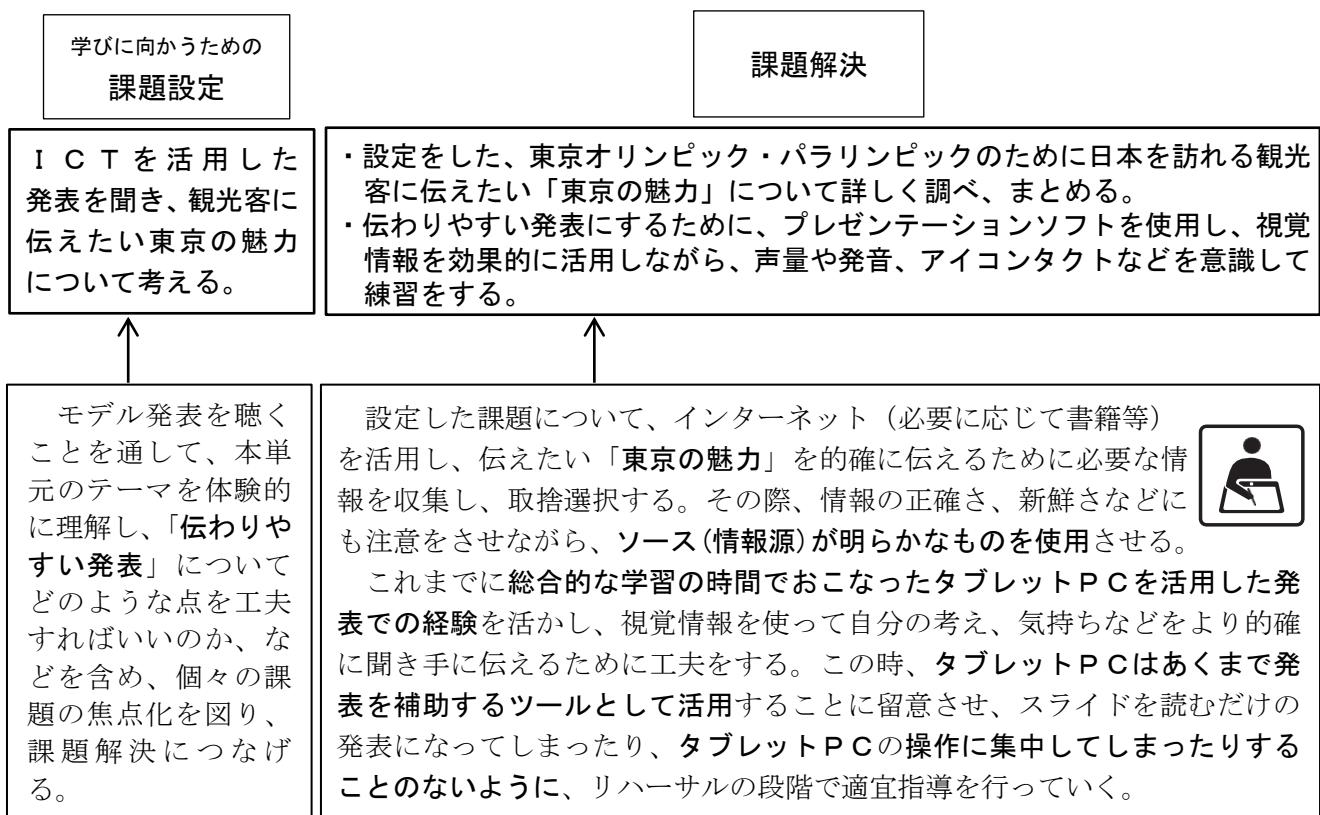
英語科分科会では、英語科における学びを深めるために「英語で表現し伝え合うために、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考え方などを形成し、再構築すること」という「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を捉え直した。

本学園の英語科の授業においては、下線部を日本語で、波線部を英語で行う、というように使用言語を区別し、目的に応じて使い分けることで学びが一層深まると考えた。ただし、下線部についても英語で行うことができる児童・生徒に関してはこの限りではない。個々の児童・生徒の発達段階や習熟度によって支援や発展的な指導を行っていくことが必要である。

② 児童・生徒に身につけさせたい力

- 具体的で身近な話題について、学校・地域・他教科等での学習内容等と関連付けながら、互いの考え方や気持ちを英語で適切に伝え合う力
- コミュニケーションの目的や場面、状況等に応じて即興的に発話をできるようにする力
- 事実や自分の考え方、気持ち等を的確に聞き手に伝えるためにICTを効果的に活用する力（中学部）

3 深い学びを実現するための学習の流れとICT活用例



第5学年 外国語活動学習指導案

1 単元名

Unit8 「料理・値段」 "What would you like?" We Can! 1

2 単元計画

時	目標	学習内容・学習活動・指導上の留意点	I C T
1	<ul style="list-style-type: none"> 世界の料理に興味をもち、欲しい物をたずね合ったり言ったりする際、丁寧な表現があることに気付く。 欲しい物についての丁寧な表現の仕方やたずね方に慣れ親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 店員との対話場面の視聴を通して、英語にも場に応じた丁寧な表現があることに気付く。 レストランなどにおいて、様々な料理などの言い方や丁寧に欲しい物を頼む表現に慣れ親しむ。 	◎タブレット P C 指導者1台 デジタル教材 プレゼンテーションソフト
2	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に注文をたずねたり答えたりして、自分の考えを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> レストランなどにおいて、紙面のメニューを見ながら、店員と客とに役割分担し、やり取りを行う。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に注文をたずねたり答えたりして、自分の考えを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> レストランの場面において、やり取りを行い、タブレット P C上で料理を揃えたり、受け取ったりする。 	◎タブレット P C 1人1台 「スカイメニュー」
4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 様々な状況に対応し、丁寧に注文をたずねたり答えたりして自分の考えを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> レストランの場面において、やり取りを行い、様々な状況に対応しながら自分の考えを伝える。 	
5	<ul style="list-style-type: none"> 他者に配慮しながら、丁寧に注文をたずねたり答えたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 誰かのために考えたメニューに必要な料理をそろえるために、店員と客とに役割分担し、やり取りを行う。 登場人物のやり取りを聞きとる。 	

3 本時（5時間扱いの4時間目）

(1) I C T活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動	知識・技能を習得する	既習の知識・技能を活用する	共に考えを創り上げる	
タブレット P C				

(2) 展開

学習内容・活動	指導のポイント ★評価
1 Greeting	・イラストや文字を画面に映し出し、視覚的に分かりやすくする。
2 Song & Chants	・リズムに乗せ、楽しい雰囲気で練習させる。
3 Phonics and Writing	・イラストを使い、学んだ文字を含んだ単語があるかを、グループで考えさせる。
4 Review	・既習ダイアローグを、画面に映したり、フラッシュカードを使ったりし、リズム・テンポよく復習させる。
5 単語練習	・飽きないよう変化をつけて、リズム・テンポよく練習させる。
6 状況設定	・状況（場面）設定は、視覚的に分かりやすいよう、画面に映したり、JTE (ALT)とのやり取りを見せたりする。
7 アクティビティ	★丁寧に注文をたずねたり答えたりしながら、既習事項を活用し、様々な状況に対応し、自分の考えを伝え合うことができる。
8 Reflection	・自身の学習について、振り返りをさせる。〈問い合わせ〉
9 Greeting	

第7学年 英語科学習指導案

1 単元名

Unit7 「ブラジルから来たサッカーコーチ」 “NEW HORIZON English Course 1”

2 単元計画

時	目標	学習内容・学習活動	ICT
1	知らない人がだれなのかをたずねたり、質問に答えて答えたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> Who is ...? の疑問文と応答 家族、年齢、誕生日について質問する、答える：ワークシートを使用し、生徒相互によるアクティビティを行う。 	
2	時刻をたずねたり、伝えたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> What time ...? の疑問文と応答 世界の各都市の時刻、季節について質問する、答える：ワークシートを使用し、生徒相互によるアクティビティを行う。 	◎タブレットPC 指導者1台 デジタル教科書
3	時差・南半球の季節について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> What □□...? の疑問文と応答 言語、スポーツ等について質問する、答える：ワークシートを使用し、生徒相互によるアクティビティを行う。 	
4	「何の□□を…か？」ということをたずねたり、質問に答えたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> What □□...? の疑問文と応答 言語、スポーツ等について質問する、答える：ワークシートを使用し、生徒相互によるアクティビティを行う。 	
5 (本時)	「どちらが…か？」ということをたずねたり、質問に答えたりすることができます。	<ul style="list-style-type: none"> Which ..., A or B? の疑問文と応答 食べ物、スポーツ、趣味等について質問する、答える：タブレットパソコンを使用し、生徒相互によるアクティビティを行う。 	◎タブレットPC 1人1台 ・プレゼンテーションソフト

3 本時（5時間扱いの5時間目）

(1) ICT活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動	見通しをもつ	既習の知識・技能を活用する	よさを共有する	
タブレットPC				

(2) 展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 Greeting 2 Small talk 3 Review	<ul style="list-style-type: none"> ジャンルの中で「何が好きか」を質問し、前時の文法事項の確認をする。 ★積極的に質問に答えようとしている。
4 「Which ..., A or B?」の文とその考え方の形・意味・用法を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> タブレットPCを使用して、好きなことや物についてアンケートを行う時、全員に提出させる。 2つのうちどちらか1つに決めさせる。
5 教科書本文 Unit7-3 の音読発表を行う。	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書の音声を聞かせる。 内容を理解して音読できているか確認する。
6 生徒相互による質問形式のアクティビティ 7 Reflection 8 Greeting	<ul style="list-style-type: none"> ★ 2つのもののうち、どちらのかたずねることができる。 <問い合わせ> ★ 「Which ..., A or B?」の文とその考え方の形・意味・用法に関する知識を身に付けている。

第8学年 英語科学習指導案

1 単元名

Presentation 2 「町紹介」 NEW HORIZON English Course 2

2 単元計画

時	ねらい	学習内容・学習活動	ICT
1	外国人観光客に向けて東京を紹介するために、「東京の魅力」を決める。	・教科書のモデル文を読み、東京の名所や東京で行われるイベント・祭りなどについて調べ、自分のテーマを決める。	◎タブレットPC ・プレゼンテーションソフト
2 ・ 3	自分が決めた「東京の魅力」について調べて、10文以上の英語でまとめる。	・インターネットや書籍を使って、テーマについて調べ、ワークシートに10文以上の英語でまとめる。	・インターネット ◎CDプレイヤー(全体で1台)
4	発表用スライドを作成する。	・4枚程度のスライドにまとめる。	
5	発表に向けてリハーサルをする。	・モデル発表を見て、伝わりやすいポイントはどこか生徒に意見を出させる。3つのポイント（声量、発音、アイコンタクト）を意識してリハーサルをする。	
6 (本時)	「東京の魅力」を発表する。	・調べたテーマについて発表する。	

4 本時（6時間扱いの6時間目）

(1) ICT活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動	見通しをもつ		多様な手段で説明する よさを共有する	
タブレットPC				

(2) 展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 Greeting 2 Song (CDプレイヤー) 3 全体で今日の目標を確認する。 外国人観光客に向けて、東京の魅力を発表しよう。	・タブレットPCを起動させておく。 ・目標確認後、自己評価・感想用紙を配付する。 
4 本時の活動内容についての説明を聞く。	
5 タブレットPCを使用し、発表リハーサルをする。 6 タブレットPCを使用し、発表する。 (1人、1分以上1分半未満)	・ペアでリハーサルをし、最終確認をするよう声掛けをする。 ★発表のポイントを意識して、自ら設定したテーマを簡潔に発表することができる。
7 自己評価シートに記入する。	・今後より良い発表にするために、自身の発表を振り返らせる。 <問い合わせ> ・教師が全体に講評を行う。

第9学年「英語科」学習指導案

1 単元名

Unit1 “Countries around the World” “NEW HORIZON English Course 3”

2 単元計画

時間	目標	学習活動・学習内容	I C T
1	・スピーチを読んで、スピーチの基本を理解する。	・モデルとなるスピーチを読んで、内容を把握する。 ・基本的なスピーチの構造を理解する。	◎タブレットPC 指導者1台 デジタル教科書
2	・情報を集め、アウトラインを作成する。	・タブレットPCを活用し、発表に必要な情報や写真等を収集する。 ・アウトラインを作成する。	◎タブレットPC 1人1台
3	・アウトラインを推敲する。	・アウトラインをペアでシェアして、アドバイスし合う。教員からフィードバックを受ける。	
4	・スピーチ原稿を作成する。	・教員のアドバイスを受けながら、発表原稿を完成させる。発表練習をする。	◎タブレットPC 1人1台 ・プレゼンテーションソフト
5	・発表の工夫について理解する。	・モデルを見て、聞き手が理解しやすい発表の工夫について考え、意見を共有する。	
6	・スピーチをする。(前半)	・自分が興味のある国について全体の前でスピーチをする。	◎タブレットPC 1人1台 ・プレゼンテーションソフト
7 (本時)	・スピーチをする。(後半)	・自分が興味のある国について全体の前でスピーチをする。 ・振り返り、まとめる。	

3 本時（7時間扱いのうち7時間目）

(1) I C T活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動			情報を整理・分類・選択する 多様な手段で説明する	
タブレットPC				

(2) 展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 Greeting	・気持ちの切り替え、発声の準備を兼ねる。
2 Sing a song	
3 Presentation ・興味のある国の知られざる魅力について、視覚資料を活用して発表する。	★基本的な発音、強勢、イントネーション、区切りなど、基本的なスピーチの方法について理解している。
4 スピーチをするにあたって大切なことを振り返りまとめる。	★聞き手が理解しやすくなるように資料を効果的に活用したり、間違いを恐れずに工夫して自分の興味のある国の魅力について話したりしている。 <問い合わせ>
5 Reviewing	
6 Greeting	・目標を振り返り、学習内容の定着を図る。